

「ヒントください」(仮)

日 時 | 2019 年 6 月 19 日 (水) 17:00-19:00

場 所 | カフェ麴中 (東京都文京区本郷 2 丁目 35-10 本郷瀬川ビル 1F)

テーマ | 防災景観論

趣 旨 | 未曾有の災害に見舞われた平成の時代は、その災害を契機としたボランティア活動や社会貢献に対する世の中の機運が高まり、建築や土木といった都市やまちづくりに関わる多くの専門家も防災や復興について自分たちにできることを考え、実践を試みました。一方で、平成の時代はまちづくりや景観の黎明期でもありました。

2004 年に公布された景観法から 15 年、次のステップアップに向けて根本を問い直す時期に差し掛かっています。根源的な問い、身近な問題意識を交換する場として篠原・内藤両代表を囲む連続車座会議を開催します。奮ってご参加ください。

話し手 |



篠原 修

東京大学大学院工学系修士課程修了後、アーバンインダストリー、東京大学農学部林学科助手、建設省土木研究所、東京大学工学部教授、政策研究大学院大学教授などを歴任。工学博士。主な著書に『土木造形家百年の仕事』、『土木デザイン論』など。主な設計指導に、勝山橋、油津堀川運河、桑名住吉入江、津和野川、苫田ダム、日向市駅、旭川駅など。



内藤 廣

早稲田大学大学院修士課程修了後、フェルナンド・イゲラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981 年内藤廣建築設計事務所を設立。2001~11 年東京大学大学院教授、副学長を歴任。主な建築作品に、海の博物館、安曇野ちひろ美術館、牧野富太郎記念館、島根県芸術文化センター、日向市駅、虎屋京都店、旭川駅、静岡県草薙総合運動場体育館、富山県美術館など。3.11 以降、国、岩手県をはじめ、陸前高田市、大槌町、野田村等の復興に関わり、現在、高田松原国営追悼・祈念施設の設計に携わる。

聞き手 | 川添 善行 東京大学生産技術研究所 准教授 / 空間構想一級建築士事務所

主 催 | 特定非営利活動法人 GS デザイン会議

定 員 | 50 名 (先着順、参加無料、非会員可)

申し込み⇒GS デザイン会議事務局 (メール: info@groundscape.jp) へ

「お名前」「一般 or 学生」「御所属」をご連絡ください。

もしくは右の QR コードの申し込みフォームからお申込みいただけます。

